

# ファスマックの ターゲットアンプリコン解析

～ご利用例～

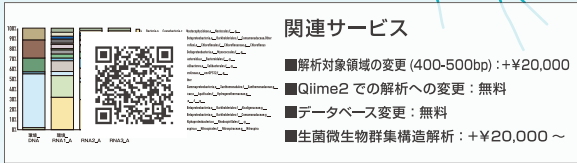
DNAバーコーディング領域はもちろん、ディープシーケンスやジェノタイピング解析など独自のターゲットにもご利用可能な解析サービスです。以下、一例をご紹介します。

## 16S アンプリコン解析

言わずと知れた原核生物の系統分類に利用される16SrRNAを対象とした解析です。ご要望に応じて解析対象配列の変更も承ります。また、生菌にフォーカスした微生物群集構造解析も承ることが可能です。



実施例：環境中の生菌微生物解析



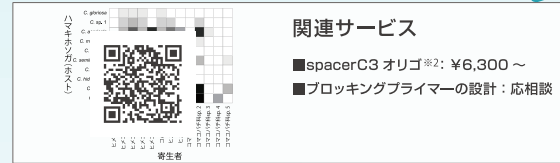
▲詳細はこちらをご覧ください。

## COI アンプリコン解析

COIは動物のDNAバーコーディングに利用可能な領域です。ブロッキング剤を利用することで、共生解析や餌生物の推定にご活用いただけます。



実施例：ハマキソガ属蛾類の体内に寄生する天敵の推定<sup>※1</sup>



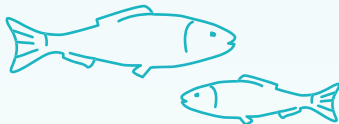
▲詳細はこちらをご覧ください。

※1：データ提供：中島亮介様 (Mol Ecol. 2017 Jun;26(12):3309-3319).  
※2：オリゴDNA合成サービスにて販売しております。

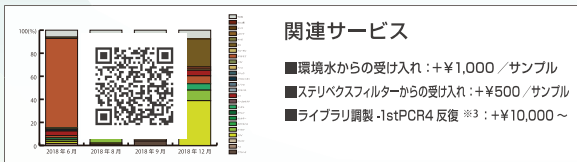
1サンプルあたり、9,375円から解析可能!

## 12S アンプリコン解析

魚類メタバーコーディングに代表されるMiFishが代表例です。環境水からの受け入れや各種フィルターからの抽出にも対応しております。



実施例：相模原水系における魚類相解析



▲詳細はこちらをご覧ください。

※3：ライブラリ調製費用は別途発生いたします。

## ジェノタイピング解析

ゲノム編集技術は自由な遺伝子改変を可能にするパワフルなツールですが、改変個体を選抜する上で、遺伝型解析(ジェノタイピング)は重要な工程です。次世代シーケンスにより、FO世代でのアリル頻度を評価することで、交配に用いるべき個体選抜を行うことができます。



実施例：CrispRvariantを用いた培養細胞のジェノタイピング<sup>※4</sup>



▲詳細はこちらをご覧ください。

※4：データ提供：安田秀世様 (J Genet Genomics.2016 Dec 20;43(12):705-708)

※表示価格はすべて税抜き価格です。